



若者が若者を動かせ!

ワカスタ ビジコン

“若者のチカラをもっと世の中に活かしたい”この想いから第4回目を迎えるマーケティングコンテスト「ワカスタビジコン」の決勝プレゼンテーションが2月24日、港区の虎ノ門ヒルズで開催されました。実際の企業が抱える若者攻略の課題解決につながるさまざまなアイデアが発表され、グランプリが決定しました。



企画・制作/東京新聞広告局

「留学・ケンカ」若者だからこそ、気づき

全国の大学生らによって構成された全112チーム(443人)から審査や予選を勝ち抜いた6チームが、24日の決勝プレゼンに臨みました。テーマを提示したのは、スポーツ用品メーカーのデサント、進学塾を経営する早稲田アカデミー、自動車・機械工業メーカーのホンダです。

決勝プレゼンの先陣を切ったのが、デサントの課題に取り組んだ法政大学3年生のチーム「マケシキ」。彼らは海外へ留学する学生を取り巻く現状に着目し、アンケートなどデータに裏打ちされた緻密な商品訴求の戦略を打ち立てました。同テーマでプレゼンに臨んだのは早稲田大学生や立命館大学生らで構成されたチーム「kinaselyco」。そのアイデアの発端は、「ケ

ンカから」。遅刻したチームメイトに対する行動から得た「気づき」をブラッシュアップし、斬新な商品アプローチの施策を構築しました。

「……ん?」と思ったかもしれませんが、学生たちのアイデアはどれも実現の確度が高く、実際に展開する可能性もあるため、残念ながら詳細なテーマやアイデアの核心に触れる情報はお伝えできません。それほどの完成度、それほどの展開力のため、プレゼンの一部のみをご紹介します。



「夢・楽しさ」挑戦して生まれる、自信

早稲田アカデミーのテーマに挑んだのは、慶應義塾・東京理科・多摩美術大学生のチーム「リサイクル」。彼女らは「若者にとって、リアルタイムな情報は価値がなくなっている」との視点から、ハートフルかつ実現性の高いアイデアを披露。同テーマに臨んだ武庫川女子大学生のチーム「APPLE KEY」は、明確なターゲット



ト設定をもとに、心理的効果も加味したイベントアイデアを発表しました。どのチームも企業の理念を深く理解し、若者の消費行動を細やかに分析した明快なプレゼンに会場からは多くの拍手が送られます。

ホンダのテーマに挑戦したのは、名古屋大学生のチーム「名古屋も頑張る」です。彼らが打ち出したアイデアにあふれるのは「夢」。ターゲットの冒険心をくすぐるだけでなく、地方創生も視野に入れたマーケティング施策です。一方の神戸大学生のチーム「AdTAS」は、大学生の勉強



事情を紐解き、新たな学習空間の創出と若者たちの発信力を活かして、ターゲット層に訴求する構想をプレゼンしました。

「火花・笑顔」プレゼンにあふれる、本気

各チームのプレゼン後には、企業担当者や他チームの学生たちから質問が飛び交います。「試算や予算感は?」「自治体との連動の仕組みは?」「イベント開催の場所は確保できるのか?」と、アイデアに対する期待や、ライバル心の火花を散らす場面もあり、本気度が窺えます。また、各チームの学生は今回の「ワカスタビジコン」を通じて、「商品に込められた企業の想いに触れることができ、貴重な経験になりました」「同世代の若者が“何を求めているのか”を深く追求できました」と、多様な学びを



得たことを述べる場面も。純粋な情熱にあふれ、若者だからこそこの着眼点と学生とは思えないマーケティング施策の中から最終審査を経て、今回の最優秀賞チームに輝いたのは名古屋大学生チームの「名古屋も頑張る」です。割れんばかりの拍手と歓声のなか、目頭を熱くするメンバーは表彰後に「自主的に、勝つために応募したプレゼンにすべてを注ぎ込みました。考え続けることの“楽しさ”、楽しさの“強さ”を体感しました。そして、アイデア1つで世界は変えられる!」。その飾らない言葉に、ワカスタビジコンの魅力と意義が詰まっています。



新たな自分に脱皮できるチャンス

学生の皆さんの熱い想いに触れ、胸が詰まる思いです。最優秀賞チームの「名古屋も頑張る」は、本当に企画を楽しんでいました。ワクワク感が伝わってきました。一方で、求めた結果に届かないチームは、悔しさや「なぜ負けたのか」と疑問が生じるのは当然です。その悔しさや疑問が生じた時こそ、成長している時です。新たな自分に脱皮できる、成長できる、大きなきっかけです。



ワカスタ・プロジェクトリーダー 藤本耕平氏



ADK若者スタジオ・通称「ワカスタ」は、若者自身がマーケッターとなり、いまどきの若者たちを“動かす”ためのヒントを研究する。プロジェクトリーダーは、(株)ADKのプランナー藤本耕平氏。

<http://wakasuta.com/>



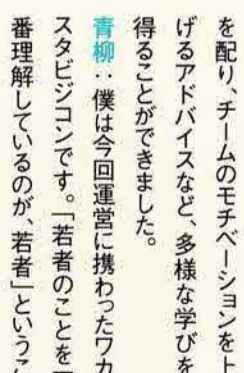
法政大学3年 白崎 龍弥さん

ワカスタに入ろうと思ったきっかけや魅力は?

白崎：大学の広告研究会サークルの先輩に誘われ「大学のなかだけで縮こまらないうちの出会いがない」「いろんな人たちと出たい」と思い参加しました。そして実感しています。「出会いしかない」と笑。

白崎：さまざまな大学の学生と交流できること、そして、今回のワカスタビジコンと同様に、実際の企業の案件に取り組めることがワカスタの魅力です。

青柳：アイデアや運営方針などについてチーム内で意見が対立することもありますが、その摩擦こそ自分の成長につながると思っています。



中央大学2年 奈古 澄香さん

白崎：マーケティングに関する学びはもちろん、僕は「何でも抱え込んでしまう自分」に気づきました。自分だけで物事を完結させようとして作業が滞ってしまった時に、藤本耕平さん(ワカスタ・プロジェクトリーダー)から「人に頼んでみれば」と。その一言で、僕の考え方は180度変わりました。またその際に「頼む時は仕事の必要性和意図を相手にしっかり伝えること」。相手の気持ちに合わせるアドバイスなど、多様な学びを得ることができました。

青柳：僕は今回運営に携わったワカスタビジコンです。「若者のことを一番理解しているのが、若者」ということ

白崎：実際に考えたアイデアが採用され、本当に実現したことです。女子高生や女子大生をターゲットに、「コピー」にあるマルチコピー機の利用を増やすために「コピー機での写真プリントとお菓子を組み合わせる」キャンペーンを九州で実施しました。自分たちの考えが「世の中に出る!」それが本当に嬉しかったです。

白崎：マーケティングに関する学びは、中身の価値も下がってしまう。箱が良ければ、中身の価値も高まる」と教えられました。それは商品の価値を引き出し、多くの人に伝えるマーケティングの考えに通じると考えています。人を笑顔にする仕事に携わり、いずれは日本のモノづくりの精神や品物を海外に向けて強く発信していきたいと考えています。

青柳：……将来は外車に乗りたいたい(笑)。それは行動意欲の一つですが、常に思いを行動に移すことを大切にしていきたいと考えています。「行動を起こさないと、何も変わらな」。だから、アクションを起こし続けていきます。

白崎：実家が宝飾箱やキーケースをつくる箱屋のため、「箱が悪ければ、中身の価値も下がってしまう。箱が良ければ、中身の価値も高まる」と教えられました。それは商品の価値を引き出し、多くの人に伝えるマーケティングの考えに通じると考えています。人を笑顔にする仕事に携わり、いずれは日本のモノづくりの精神や品物を海外に向けて強く発信していきたいと考えています。

青柳：……将来は外車に乗りたいたい(笑)。それは行動意欲の一つですが、常に思いを行動に移すことを大切にしていきたいと考えています。「行動を起こさないと、何も変わらな」。だから、アクションを起こし続けていきます。

白崎：実家が宝飾箱やキーケースをつくる箱屋のため、「箱が悪ければ、中身の価値も下がってしまう。箱が良ければ、中身の価値も高まる」と教えられました。それは商品の価値を引き出し、多くの人に伝えるマーケティングの考えに通じると考えています。人を笑顔にする仕事に携わり、いずれは日本のモノづくりの精神や品物を海外に向けて強く発信していきたいと考えています。

青柳：……将来は外車に乗りたいたい(笑)。それは行動意欲の一つですが、常に思いを行動に移すことを大切にしていきたいと考えています。「行動を起こさないと、何も変わらな」。だから、アクションを起こし続けていきます。

白崎：実家が宝飾箱やキーケースをつくる箱屋のため、「箱が悪ければ、中身の価値も下がってしまう。箱が良ければ、中身の価値も高まる」と教えられました。それは商品の価値を引き出し、多くの人に伝えるマーケティングの考えに通じると考えています。人を笑顔にする仕事に携わり、いずれは日本のモノづくりの精神や品物を海外に向けて強く発信していきたいと考えています。

青柳：……将来は外車に乗りたいたい(笑)。それは行動意欲の一つですが、常に思いを行動に移すことを大切にしていきたいと考えています。「行動を起こさないと、何も変わらな」。だから、アクションを起こし続けていきます。

白崎：実家が宝飾箱やキーケースをつくる箱屋のため、「箱が悪ければ、中身の価値も下がってしまう。箱が良ければ、中身の価値も高まる」と教えられました。それは商品の価値を引き出し、多くの人に伝えるマーケティングの考えに通じると考えています。人を笑顔にする仕事に携わり、いずれは日本のモノづくりの精神や品物を海外に向けて強く発信していきたいと考えています。

青柳：……将来は外車に乗りたいたい(笑)。それは行動意欲の一つですが、常に思いを行動に移すことを大切にしていきたいと考えています。「行動を起こさないと、何も変わらな」。だから、アクションを起こし続けていきます。

白崎：実家が宝飾箱やキーケースをつくる箱屋のため、「箱が悪ければ、中身の価値も下がってしまう。箱が良ければ、中身の価値も高まる」と教えられました。それは商品の価値を引き出し、多くの人に伝えるマーケティングの考えに通じると考えています。人を笑顔にする仕事に携わり、いずれは日本のモノづくりの精神や品物を海外に向けて強く発信していきたいと考えています。

青柳：……将来は外車に乗りたいたい(笑)。それは行動意欲の一つですが、常に思いを行動に移すことを大切にしていきたいと考えています。「行動を起こさないと、何も変わらな」。だから、アクションを起こし続けていきます。

白崎：実家が宝飾箱やキーケースをつくる箱屋のため、「箱が悪ければ、中身の価値も下がってしまう。箱が良ければ、中身の価値も高まる」と教えられました。それは商品の価値を引き出し、多くの人に伝えるマーケティングの考えに通じると考えています。人を笑顔にする仕事に携わり、いずれは日本のモノづくりの精神や品物を海外に向けて強く発信していきたいと考えています。

青柳：……将来は外車に乗りたいたい(笑)。それは行動意欲の一つですが、常に思いを行動に移すことを大切にしていきたいと考えています。「行動を起こさないと、何も変わらな」。だから、アクションを起こし続けていきます。

白崎：実家が宝飾箱やキーケースをつくる箱屋のため、「箱が悪ければ、中身の価値も下がってしまう。箱が良ければ、中身の価値も高まる」と教えられました。それは商品の価値を引き出し、多くの人に伝えるマーケティングの考えに通じると考えています。人を笑顔にする仕事に携わり、いずれは日本のモノづくりの精神や品物を海外に向けて強く発信していきたいと考えています。

青柳：……将来は外車に乗りたいたい(笑)。それは行動意欲の一つですが、常に思いを行動に移すことを大切にしていきたいと考えています。「行動を起こさないと、何も変わらな」。だから、アクションを起こし続けていきます。

白崎：実家が宝飾箱やキーケースをつくる箱屋のため、「箱が悪ければ、中身の価値も下がってしまう。箱が良ければ、中身の価値も高まる」と教えられました。それは商品の価値を引き出し、多くの人に伝えるマーケティングの考えに通じると考えています。人を笑顔にする仕事に携わり、いずれは日本のモノづくりの精神や品物を海外に向けて強く発信していきたいと考えています。

青柳：……将来は外車に乗りたいたい(笑)。それは行動意欲の一つですが、常に思いを行動に移すことを大切にしていきたいと考えています。「行動を起こさないと、何も変わらな」。だから、アクションを起こし続けていきます。

白崎：実家が宝飾箱やキーケースをつくる箱屋のため、「箱が悪ければ、中身の価値も下がってしまう。箱が良ければ、中身の価値も高まる」と教えられました。それは商品の価値を引き出し、多くの人に伝えるマーケティングの考えに通じると考えています。人を笑顔にする仕事に携わり、いずれは日本のモノづくりの精神や品物を海外に向けて強く発信していきたいと考えています。

青柳：……将来は外車に乗りたいたい(笑)。それは行動意欲の一つですが、常に思いを行動に移すことを大切にしていきたいと考えています。「行動を起こさないと、何も変わらな」。だから、アクションを起こし続けていきます。

白崎：実家が宝飾箱やキーケースをつくる箱屋のため、「箱が悪ければ、中身の価値も下がってしまう。箱が良ければ、中身の価値も高まる」と教えられました。それは商品の価値を引き出し、多くの人に伝えるマーケティングの考えに通じると考えています。人を笑顔にする仕事に携わり、いずれは日本のモノづくりの精神や品物を海外に向けて強く発信していきたいと考えています。

青柳：……将来は外車に乗りたいたい(笑)。それは行動意欲の一つですが、常に思いを行動に移すことを大切にしていきたいと考えています。「行動を起こさないと、何も変わらな」。だから、アクションを起こし続けていきます。

白崎：実家が宝飾箱やキーケースをつくる箱屋のため、「箱が悪ければ、中身の価値も下がってしまう。箱が良ければ、中身の価値も高まる」と教えられました。それは商品の価値を引き出し、多くの人に伝えるマーケティングの考えに通じると考えています。人を笑顔にする仕事に携わり、いずれは日本のモノづくりの精神や品物を海外に向けて強く発信していきたいと考えています。

青柳：……将来は外車に乗りたいたい(笑)。それは行動意欲の一つですが、常に思いを行動に移すことを大切にしていきたいと考えています。「行動を起こさないと、何も変わらな」。だから、アクションを起こし続けていきます。

白崎：実家が宝飾箱やキーケースをつくる箱屋のため、「箱が悪ければ、中身の価値も下がってしまう。箱が良ければ、中身の価値も高まる」と教えられました。それは商品の価値を引き出し、多くの人に伝えるマーケティングの考えに通じると考えています。人を笑顔にする仕事に携わり、いずれは日本のモノづくりの精神や品物を海外に向けて強く発信していきたいと考えています。

青柳：……将来は外車に乗りたいたい(笑)。それは行動意欲の一つですが、常に思いを行動に移すことを大切にしていきたいと考えています。「行動を起こさないと、何も変わらな」。だから、アクションを起こし続けていきます。

挑戦状

平成から未来への
ワカスタ × FUTURE

Challenger from HEISEI

CHALLENGER.03 ADK若者スタジオ



さまざまな気づきと
出会いにあふれる場



日本大学2年 青柳 直明さん

最後に、みなさんの未来に向けたメッセージをお願いします!

奈古：将来は、エンタテインメント関係の業界に進み、人を楽しませる空間を創出して、多くの人と感動を共有したいです。また、結婚後もキャリアと子育てを両立しながら、故郷の山口県に何かしら還元できるような生き方を見出したいとも思っています。

青柳：……将来は外車に乗りたいたい(笑)。それは行動意欲の一つですが、常に思いを行動に移すことを大切にしていきたいと考えています。「行動を起こさないと、何も変わらな」。だから、アクションを起こし続けていきます。

白崎：実家が宝飾箱やキーケースをつくる箱屋のため、「箱が悪ければ、中身の価値も下がってしまう。箱が良ければ、中身の価値も高まる」と教えられました。それは商品の価値を引き出し、多くの人に伝えるマーケティングの考えに通じると考えています。人を笑顔にする仕事に携わり、いずれは日本のモノづくりの精神や品物を海外に向けて強く発信していきたいと考えています。